

斜面のひずみ監視システム 施工事例

◆ 概要

山梨県の工事現場。高速道路わきの農道整備工事。

現場の斜面は土壌が非常にやわらかく危険が伴い、伸縮計の設置も困難であった。

本システムは、迅速・簡易に設置できることから、**[重機などに携わる作業者の安全を監視する目的]**で設置された。



使用状況

・作業中は重機の音で警報が聞こえにくい
「警報装置」と「回転灯」を高い位置に置き、
作業者全員が一目で危険を察知できるようにしている。



毎朝作業前に、作業者が「監視装置のスイッチ」を入れている

選定ポイント

- ・有線なので断線等の原因が発見しやすく、**メンテナンスが容易**が良い
- ・伸縮計よりも**簡易が容易**でバッテリーの持ちも良い。現場状況により使い分けたい。

本システムは、[監視装置+ひずみセンサー+モニタリングソフト]で構成。地中に埋設した「ひずみセンサー」がひずみ値を取得し、斜面工事時の斜面の不安定化や崩壊危険性を計測監視します。測定値があらかじめ設置した値を超えた場合には、警報で作業者に知らせるシステムです。

建設工事現場での安全対策や法面の崩壊調査に！土砂災害危険個所での調査に！

～「動いている」か「止まっている」かの判断に～